



諸浦―片側―中田を結ぶフェリー『ロザリオ』

昨年末をもって(有)山坂汽船の定期航路が廃止され、新年から(有)波戸汽船の定期航路が新設されました。

四方を海に囲まれ、船舶が重要な交通手段となっている本町。これまで利用客の減少や燃料高騰などの影響を受け、すべての航路で便数変更や料金値上げなどの経営見直しが進められてきました。

このような中、12月31日、伊唐・宮ノ浦・幣串間を運航してきた山坂汽船の『ニューしんせいあづま』が廃止され、1月1日から、御所ノ浦・片側・諸浦を運行していた波戸汽船の『すずかぜ2』が、諸浦・幣串に新規就航しました。



蔵之元―牛深を往復するフェリー『第二天長丸』

三和商船(株)のフェリー『第二天長丸』は、2月2日から7日までの6日間、船舶検査のため全便運休します。

大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

蔵之元―牛深航路 全便運休

期間：平成21年 **2月2日** (月) ~ **7日** (土)

◎問い合わせ先

三和商船株式会社本社 TEL 0969(73)2103
蔵之元港 TEL (88)5689



池田さん惜しまれながら勇退

片側港で定期航路の切符売りやはしけ役として活躍された池田君枝さんが11月31日、勇退されました。

静岡県出身の池田さんは、終戦後、夫の実家である獅子島へ移住し、獅子島・諸浦・米ノ津や諸浦・獅子島・天草を結ぶ航路の仕事に従事されました。同居する娘夫婦の提案を受け、50年以上続けてきた仕事からの「勇退を」決意しました。島民から惜しまれながらの勇退でした。



航路の仕事を勇退した池田君枝さん

終戦後、何が何だか分からないまま獅子島へ移り住み、夫の父親からはしけや郵便物運搬などの仕事を引き継ぎました。はじめは舟をこげず、お客さんにこいでもらっていました。はしけに乗せた子牛といっしょに海に落ちたことが一番の思い出です。ここまで頑張れたのは、お客さんのおかげです。ここに住めたことを本当によかったと思っています。今後もやりたいことがいっぱいあります。ブラブラといる訳にはいきません。